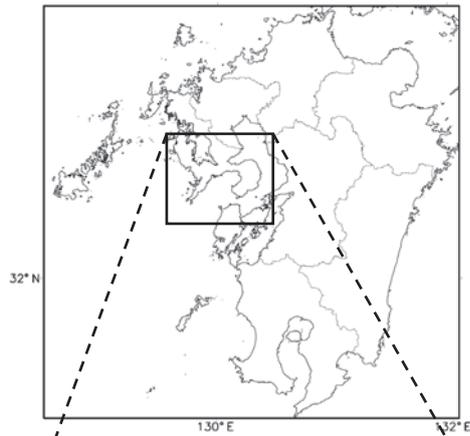
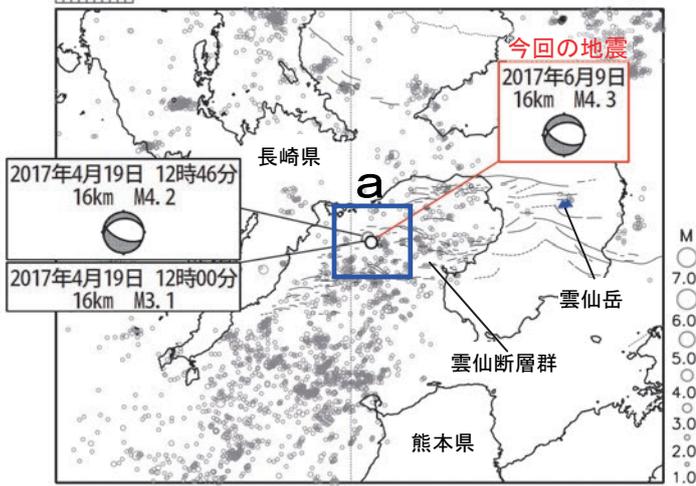


# 6月9日 橘湾の地震

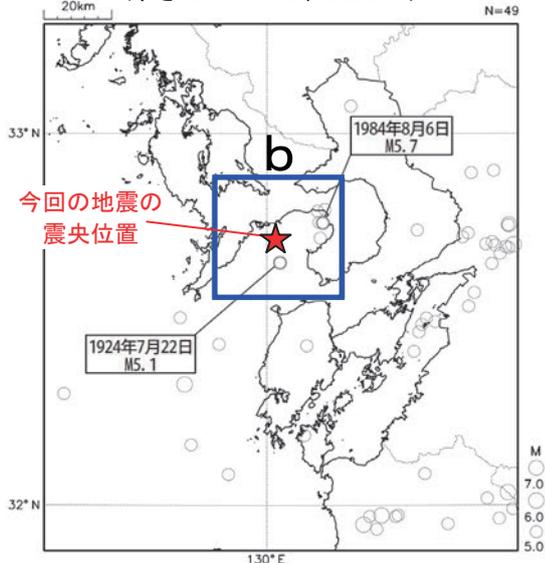


震央分布図  
(2000年10月1日～2017年6月30日、  
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$ )  
2017年6月の地震を濃く表示



図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

震央分布図  
(1923年1月1日～2017年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )



2017年6月9日23時36分に橘湾の深さ16kmでM4.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）は地震活動が比較的活発な領域で、M2.0以上の地震が時々発生していた。2017年4月19日には、M4.2とM3.1の地震（いずれも最大震度3）が発生するなどややまとまった地震活動がみられた。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM5.0以上の地震が6回発生している。1984年8月6日には、M5.7の地震を最大として地震活動が活発となった。この地震活動により、小浜町（現在は雲仙市）で建物一部破損53棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図

